

おいしいね!

発行責任者 生活協同組合アイチョイス岐阜
 理事長 子安 貞継
 ☎058-215-5566



2026. 3月
 若芽色号

早春に生えだしたばかりの若い芽のような淡くきれいな黄緑色。若草色や若葉色より薄く、繊細な色のことをいいます。古くから成長と生命力を感じさせる、爽やかな色として好まれてきました。

特集

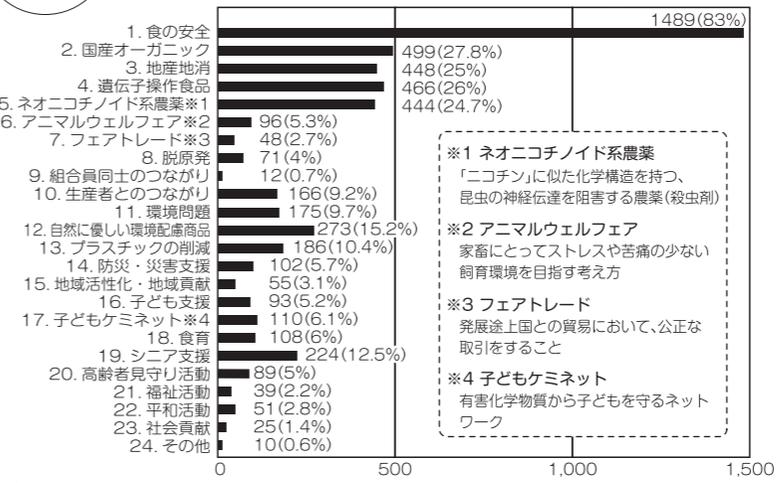
第一回 組合員 アンケート 結果



私たちアイチョイス岐阜のスローガン「あいたくなる生協」の実現に向けて、3ヶ年計画を具体化するため、組合員の想いや期待を知ることがを目的に2025年8月、初めて全組合員を対象としたアンケートを実施しました。アンケートの結果から組合員みなさんの考える、理想の生協がはっきり見えてきました。

【有効回答数1,795件】
 (紙面回答/951件 WEB回答/844件)

Q1 今後3年間、アイチョイス岐阜で特に大切にしたいと思うことは？ (回答は3つまで選択) [1,793件の回答]

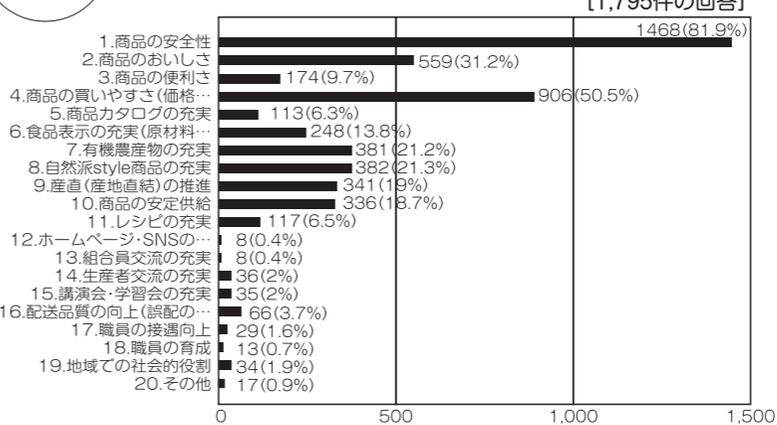


※1 ネオニコチノイド系農薬
 「ニコチン」に似た化学構造を持つ、昆虫の神経伝達を阻害する農薬(殺虫剤)
 ※2 アニマルウェルフェア
 家畜にとってストレスや苦痛の少ない飼育環境を目指す考え方
 ※3 フェアトレード
 発展途上国との貿易において、公正な取引をすること
 ※4 子どもケミネット
 有害化学物質から子どもを守るネットワーク

組合員の期待は、やはり「食の安全」が一番

「食の安全」が1,489(得票率83%)と圧倒的な数値となっています。次いで「国産オーガニック」499(同27.8%)、「遺伝子操作食品(遺伝子組み換え・ゲノム編集)」466(同26%)、地産地消448(同25%)、ネオニコチノイド系農薬444(同24.7%)と続きます。アイチョイス岐阜を支持していただいている組合員の皆さんの「食の安全」に関する関心の高さ(想いの強さ)がうかがえます。私たちアイチョイス岐阜が、この先も絶対に失くしてはならないもの、「組合員の食の安全を守る」生協の使命感を再認識することになりました。

Q2 これからのアイチョイス岐阜で特に取り組んでほしいと思うことは？ (回答は3つまで選択) [1,795件の回答]



アイチョイス商品に対する期待値の高さ

圧倒的な数値を示したのは「商品の安全性」1,468(得票率81.9%)、Q1と同様にここでも「安全」がキーワードでした。続いて「商品の買いやすさ(価格・量)」906(同50.5%)、「商品のおいしさ」559(同31.2%)、「自然派Style商品の充実」382(同21.3%)、「有機農産物の充実」381(同21.2%)「産直(産地直結)の推進」341(同19%)、「商品の安定供給」336(同18.7%)となりました。組合員の皆さんからのアイチョイス商品に対する期待値の高さがうかがえると同時に、これからも継続して利用してもらうために、利用しやすい価格やおいしさの追及、品揃えの充実を図っていきます。

「地球環境を守る」環境問題も考えないと

「自然に優しい環境配慮商品」273(同15.2%)、「プラスチックの削減」186(同10.4%)、環境問題175(同9.7%)も高い関心を示しています。「地球環境を守る」は壮大なテーマかもしれませんが、私たちの子孫に、「健康で住み続けられる地球」を残すために、私たちの身の回りの環境を整えることが大切です。

その他も大切な役割が

「高齢者見守り活動」89(同5%)は数値は高くないかもしれませんが、アイチョイス岐阜では昨年瑞穂市、岐阜市、各務原市、美濃加茂市と協定を締結しました。2026年も県内各市町に順に拡げていきます。これも大切な地域貢献活動です。「防災・災害支援」102(同5.7%)、平和活動51(同2.8%)は、私たちが過去を振り返り、同じ過ちを繰り返さないために、これからも情報やメッセージを発信し続けていきます。

その他寄せられた声に対して

「配送品質の向上(誤配の削減・品質管理)66(同3.7%)」、「職員の接客向上」29(同1.6%)、組合員の窓口となる職員に対して、多くの励ましの声が届けると同時に求められる期待も大きいと感じます。「生産者交流の充実」36(同2%)、「講演会・学習会の充実」35(同2%)、昨年の「あいたくなる生協交流会」や「総代交流会」での参加者の笑顔を見て、やはり生協は、組合員さんや生産者さん、メーカー担当者さんと交流し、共に学びあうことが大切だとの想いを強く持ちました。

Q3 あなたの年代を教えてください [1,779件の回答]

| | ~20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代~ |
|----|------|-----|------|------|------|------|------|
| 人数 | 5 | 120 | 257 | 335 | 546 | 399 | 117 |
| % | 0.2 | 6.7 | 14.4 | 18.8 | 30.7 | 22.4 | 6.6 |

第11回 生産者消費者 討論会

1月21日(水)
神戸市



神戸で開催された生産者消費者討論会には、約70名の生産者と130名近い生協関係者が集いました。午前には鈴木宣弘さんの講演後、熊本有機の会の田中誠さん、庄内協同ファームの小野寺紀允さんを交えてトークセッションがありました。生産者の高齢化、耕作放棄地の増加、異常気象など暗い話題の中私たち組合員にできることは、安心して食べられる作物を作り続けてもらえるように買い支えることだと思っていましたが、今回素晴らしい報告を聞きました。和歌山県で有志らが耕作放棄地に小麦を栽培し、学校給食で使用した例や酪農家と消費者が協力して飼料確保している例など、消費者が今以上に積極的に関わるのが大切になってきていると感じました。[理事H.I]

午後からは、アイチョイスとコープ自然派そして生産者さんが数組のグループに分かれて交流し、わたしたちの産直「これからの10年を考えよう」～国産オーガニックを広げるために～というテーマをもとに話し合いをしました。

私と同じグループに以前産地見学でお世話になった、のらくら農場の萩原さんがみえたのでとても嬉しかったです。萩原さんのお知り合いで有機スペシャリストの方がみえて下水汚泥を肥料として使えるテクノロジーを開拓中だそうです。日本は下水汚泥を使わないといけない日が必ず来るとも言ってみました。

私の方からは「娘が中庭Farmersさんの紅くるり大根を薄くスライスしてマヨネーズや甘味噌でいただくサラダをととても気に入っています。こんなに美味しい野菜を送ってもらえて本当にありがとうございます」と伝えたところ萩原さんが「とても励みになります！」と喜んで下さったのが印象的でした。

他の生産者の方々のお話も興味深い話ばかりで有意義な時間を過ごす事ができました。今回参加して生産者さんと生協、そして組合員である私達の繋がりがオーガニック農業を支える上で大切だと強く感じました。[理事H.Y]

アイチョイス商品委員会とは、これまでの職員だけで行ってきた商品開発を、組合員の声を商品開発に活かしていこうという目的のもと、発足された委員会です。毎月、委員会メンバーで色々な試食をし、意見を出し合います。またメーカーや生産者さんにお越しいただき、勉強会もします。

まず、前回学習した「ナチュラムーン」についてご紹介したいと思います。この生理ナプキンは、15年前、コープ自然派組合員さんの「ノンポリマーの商品が欲しい」という声から生まれた商品です。肌面に天然コットン100%、吸収体には綿状パルプを使用した、日本初のナチュラル生理用品です。布ナプキンのデメリットを補い、使い勝手もよくて人体や自然環境へ影響がありません。カブレにくく、吸収力の高いふかふかパルプを使用しているためモレにくく、ムレにくいのが特徴です。一般的なナプキンに使用されている高吸収ポリマーは、水分を吸うと保冷剤のようにゼリー状に固まり、下半身が冷え生理痛などを起こす可能性があります。またナチュラムーンの特長にも特徴があります。他メーカーのものは吸水すると羽根型に広がりますが、ナチュラムーンの場合は筒状のままなので痛みが出にくいのが特徴です。

商品の良さは紹介しましたが、生理には個人差がありますので、その時々のご快適さを選択して、使い分けをすると良いと思います。

次に試食についてです。今回一番感動したのは「セロリ」です。生ときんぴらを食べました。セロリ独特のえぐみが少なく、甘味があり一口食べて美味しいとすぐ思えるものでした。このセロリは渥美半島田原の砂利地で農業を使わず栽培されています。この特徴的な土壌のおかげでえぐみが取れているようです。セロリの旬は年末から2月頃までで、後半につれ「す」が入りやすくなります。えぐみが強いものは炒め物に使うと甘くなるようです。あまりに立派で花束のような状態で配達されます。ご紹介が遅れたので、今季購入を逃してしまった方は是非、来年購入してみてくださいね！[理事J.H]

アイチョイス 商品委員会

毎月の委員会の様子をお知らせします



日本の農業を未来へつなぐ アイチョイスの新たな選択肢

ブレンド米の取り扱い開始に向けて 生産者やメーカーと調整をしています。

※企画開始までもう少々お待ちください！



昨年、全国でブレンド米が中心となって販売され、単一品種米(生産者・生産地が特定されたお米)の供給が不安定になる場面がありました。アイチョイスとしては、どんな状況でも安定してお米を届けられるよう、選択肢を広げておくことが必要だと考えています。

なぜブレンド米を取り扱うの？

生産者にとって大きなメリット

- ① 古米が買いたたかれるのを防ぎ、価格を守りやすい。
 - ② 出荷先が決まっていないお米を無駄なく使える。
 - ③ 新しい品種への挑戦がしやすくなる。
- 気候変動で栽培が難しくなる中、産地を守る手助けにもなる取り組みです。特に、気候変動で「シビカリ」など有名銘柄の栽培が難しくなる中、ブレンド米として出荷できる環境があれば、生産者が新しい品種にチャレンジでき、農業の持続性にもつながります。

組合員のみなさんのメリット

- ① 不作や需給変動のときも、安定してお米をお届けできる可能性が高くなります。
 - ② 単一品種では出せない、ちぎつとぎい味・食感のブレンドが生まれることも
 - ③ 価格面で少しお得になる可能性も(※詳細は決まり次第お知らせします)
- ※ブレンド米も、アイチョイス基準(特別栽培・ネオニコトリンなどは守ります)。「安心安全で、顔の見える生産者の米」を基本に考えていきます。

今ある産直米も、ぜひ応援をお願いします

ブレンド米を取り扱うことは、決して「単一品種米を減らす」ためではありません。むしろ逆に、今の産直米・生産者さんとの関係を未来まで続けるための一つの手段です。気候変動で栽培が難しくなり、特別栽培がどんどん希少になっていく中で、アイチョイスは生産者さんが安心して作り続けられる場でありたいと思っています。そのためにも、組合員のみなさんの「買い支え」が何よりの力になります。

理事会報告

2025年度 第7回理事会

2025/12/25 生協富加センター会議室 他
出席：理事10名(11名中) 監事4名(4名中)

[決議事項]
認定NPO法人ハンガー・フリー・ワールド「書き損じ八ガキ等回収キャンペーン」取り組みへの賛同について

[協議決定事項]
2025年11月30日現在の2項組合員数について

[報告事項] 月次決算報告について

| | | | |
|-------|----------|-------------|-------------------|
| 供給高 | 11月 | 208,472千円 | 予算比 (93.1%) |
| | 11月までの累計 | 1,772,293千円 | 予算比 (97.6%) |
| 経常剰余金 | 11月 | 2,789千円 | 11月までの累計 13,973千円 |

| | |
|--------------|-------------------|
| 仲間づくり(組合員拡大) | |
| 加入件数 | 11月 266件(計画350件) |
| | 11月末の組合員数 22,795人 |
| | 前期比 (106.7%) |

広報報告/組合員活動(各委員会) 報告
連合会アイチョイスからの報告 他



2025年度 第8回理事会

2026/1/22 生協富加センター会議室 他
出席：理事10名(11名中) 監事4名(4名中)

[決議事項]
経営リスク保険(生協役員賠償責任保険)への継続加入について

[協議決定事項]
「GMOフリーゾーン運動20周年記念アジア大会」への協賛について
総務委員会の設置について
2025年度着地予測と2026年度予算案について
2025年12月31日現在の2項組合員数について

[報告事項] 月次決算報告について

| | | | |
|-------|----------|-------------|-------------------|
| 供給高 | 12月 | 288,815千円 | 予算比 (100.2%) |
| | 12月までの累計 | 2,061,107千円 | 予算比 (97.9%) |
| 経常剰余金 | 12月 | 6,971千円 | 12月までの累計 20,931千円 |

| | |
|--------------|-------------------|
| 仲間づくり(組合員拡大) | |
| 加入件数 | 12月 263件(計画305件) |
| | 12月末の組合員数 22,912人 |
| | 前期比 (106.7%) |

広報報告/組合員活動(各委員会) 報告
連合会アイチョイスからの報告 他